

あなたは加害者？ 被害者？

# みんなの迷惑 近隣騒音

「隣のクーラーの音がうるさくて眠れない」「朝ゆっくり寝ていたいのだが、自動車の空ぶかし音で起こされてしまう」

近隣騒音――。

「やめてくれ！」と苦情を言いたいが、はつきり態度で示すとお互い気まずくなるのではないか、そうなると、近所だけに今後の付き合いに困るし……と、ついついガマンしてしまいます。

確かに、近隣騒音は苦情を言う人も、言われる人もイヤなもの。お互い、不愉快な思いをしないためには、騒音の発生源にならないようにすることが第一です。

これから夏に向かって、あなたも身の回りの騒音の“元”をも一度チェックしてください。

## あなたにとって楽しい音も、他人にとってはイヤな音

騒音とひと口に言っても、いろいろあります。

工場騒音、建設作業騒音、自動車騒音……。しかし、これらの音はある程度、法律などの規制で抑えることができます。

ところが、近隣騒音には、人の話し声や足音、掃除機や洗濯機の音、さらには楽器の音など、日常生活の中からどうしても出てしまう音も含まれています。それだけに規制は難しく、一人ひとりの公共心や他人に対する思いやりの心が大切になってきます。

もう一つ近隣騒音で厄介なことがあります。

あなたの出している音が、たとえあなたにとって楽しい良い音であっても、その音を聞く人によって、また時と場合によってはうるさく感じることがあることです。

たとえば、根っから音楽が好きな人でも、仕事や勉強をしているときに聞こえてくるメロディは、じやまな騒音にしかすぎない、ということなのです。

最近の家庭には、ステレオ、テレビ、楽器など、音の出るものがいっぱいあります。音を出す

(データ)

57年中の近隣騒音(営業騒音、拡声機騒音、家庭生活音、車の空ぶかし音など)による苦情件数は、騒音苦情件数全体の三九・九%で第一位、第二位は工場、事業場騒音で三七・七%。第三位は建設作業騒音で一・九% (昭和五十七年度環境庁調査)

す時間やボリュームに気を配り、一人ひとりが近隣騒音の発生源にならないようにして、他人に迷惑をかけない生活を心がけたいものです。

## 音の“加害感”と“被害感”のズレがトラブルを生む

近隣騒音をめぐるトラブルが増えているのは何故原因でしょうか。

隣近所を気にしない、いわゆる無神経な人や思いやりのない人が増えたからかというところ、決してそうではないようです。むしろ、かなりの人(七八%)が、自分の家から発生する騒音が近所迷惑にならないように気をつけています(総理府世論調査・昭和五十八年度)。

気にしていながら、なぜ、近隣騒音のトラブルが起こるのでしょう。その原因の一つとして、



次のようなことが考えられます。

隣近所に迷惑をかけているのではないかと気にしている(加害感)音と、聞いているほうがるさく感じる(被害感)音との間に、かなりのズレが見られることです。この“立場のズレ”は、近隣騒音によるトラブル発生の一つの原因といえましょう。

加害感の強い音と被害感の強い音を多い順に見てみましょう。

**加害感** 迷惑をかけているのではないかと気にしている音

- 話し声など
- 風呂などの給排水音
- テレビ・ステレオの音
- 室内、階段を歩くときの足音

**被害感** 実際にうるさく感じる音

- 自動車の空ぶかし、ドアの開閉音
- 風呂などの給排水音
- 室内、階段を歩くときの足音
- 扉や窓の開閉音

これらの音のうち、被害感のほうにあって加害感にはない音「自動車の空ぶかし、ドアの開閉音」「扉や窓の開閉音」は、“注意すべき騒音”ということになるでしょう。発生源にならないよう、気をつけたいものです。